

クラブテーマ：「**明るいクラブの基盤拡大と超我の奉仕**」

2021-2022 年度会長

瓜生道明

(1) RI 会長テーマと活動目標（シェカール・メータ会長）

詳細 別紙 1 参照

- ・ 2021-2022 年度テーマ：「**奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために**」

(Serve to Change Lives)

・ 活動目標（抜粋）

① 会員増強

過去 17 年間 120 万人と横ばいであった会員を、2022 年 7 月 1 日までに 130 万人へ(8%増)

② ロータリー奉仕デーのイベント開催

2021-2022 年度に少なくとも 1 回、実践的かつ行動志向の奉仕デーのイベントを計画開催
(開催にあたっては、定められたガイドラインを満たす必要あり)

- ③ 世界各地で 7 つの重点分野（ロータリー財団の重点分野、本年度から「環境の保全」が追加）に焦点を当てた 7 回の RI 会長主催会議の開催。

(2) 2700 地区テーマと重点目標

- ・ テーマ：「**取り組もう 基盤強化と超我の奉仕**」

詳細 別紙 2 参照

・ 重点目標（抜粋）

① 会員増強地区目標

2022 年 7 月 1 日時点の目標会員数 3400 人 (⊕248 人/64 クラブ≒4 人)

② 地区が一体となったインパクトのある奉仕活動の計画・実施

RI 活動目標のロータリー奉仕デーの実施。6 月末までに計画立案し、補助金申請、(ロータリー財団より、各グループ最大 50 万円補助)、10 月ごろ実施する。

(第 8 回宗像国際環境会議開催日時の前後に実施し、分科会で事例報告)

第 1 グループから第 7 グループごとにイベントを計画中。当クラブも、江見第 5 グループガバナ補佐（福岡城西クラブ）を中心に計画中。

(3) 当クラブの運営の方針（目標）

市川年度のクラブテーマは「親睦を原点に」でした。ロータリークラブの原点の一つである親睦を起点として、人を思いやる心を大事にしようと呼びかけられました。

コロナ禍で会員同士が語り合う機会も少なくなる中、長期計画委員会や理事会では、明るい雰囲気、私自身はこれまで以上に対話できたと思っています。ロータリーの歴史には精通していませんが、明るいクラブであればこそ、互いの意見も尊重しつつ建設的な対話もでき、それがクラブの活性化につながり、また、若い会員の勧誘にもつながると考えています。

当クラブが、より一層活性化し、会員の皆様の満足度が高まるよう努力してまいりますので、会員各位のご指導・ご鞭撻をよろしく願います。具体的な運営方針は次のとおりです。

(4)運営方針

①長期計画の検討・立案

市川年度において、CLP が導入され、委員会組織の変更が行われ、長期計画委員会が設置されました。長期計画委員会では、クラブ細則改正、クラブ内部規定（経理規定・慶弔規定・職員就業規則）について論議し、昨年12月のクラブ総会にて承認され改正が完了しました。

また、会員満足度アンケート、クラブ活力テストの2つのアンケートを実施しました。

今年度は、これらのアンケート結果等をもとに、CLP の実践の始めとして、長期計画を検討・立案したいと考えています。（クラブの現状の把握、なりたいクラブのビジョン作成、ビジョン達成のための戦略的優先事項の検討）

また、長期計画委員会の会議には、委員以外の会員参加もオブザーバーとして歓迎いたします。

②WEB 方式でのクラブ例会の開催検討

ズーム等のソフトツールを活用した会合の開催について広報・公共イメージ委員会で必要性や課題、適応する範囲等の検討を行って頂きます。（できるだけ早く結論を出したい）

③当クラブ奉仕プロジェクト

以下の内容で、ロータリー財団地区補助金申請済み。（申請額 599,500 円、内容は市川年度での計画を流用）

- ・プロジェクト名「ゴールドリボンチャリティーハーフマラソン&ウォーク」（於 県営春日公園）
- ・協力団体；ゴールドリボンチャリティーハーフマラソン&ウォーク実行委員会
- ・小児がんと闘っている子供達やその家族そしてそれらをサポートする方々への支援を目的にイベントを開催し小児がんへの理解と支援の広がりを目指す。（例会時の外部卓話も計画）

④地区ロータリー奉仕デープロジェクト

本奉仕活動は、参加者の25%以上は、ロータリアン以外の方の参加が条件となっていますので各会員企業の皆様のご協力をお願いします。別途、奉仕プロジェクト委員会より具体的な内容をお知らせいたします。

⑤会員増強

転勤移動等に伴う退会者の補充は勿論のこと、若い会員の勧誘を目指したい。市川年度で会員基盤向上委員会の提案により導入された「新会員勧誘システム」の積極的な活用をお願いします。

⑥台湾・高雄中興ロータリー表敬訪問

2022年3月の高雄中興ロータリー30周年式典招待を受けて、これに参加し永年にわたるクラブ間の友好親善をさらに深めていくことに努めます。（国際親善委員会）

⑦40周年記念事業対応

事業内容、実行体制、予算等について、40周年記念事業委員会（川久保会長、鐘川実行委員長）で今後検討して頂く。今年度に対応が必要な項目の洗い出しと準備を行う。

⑧財団寄付の充実

財団寄付の目的、用途等の周知を改めて行うとともに、（ニコニコ箱を使い）分かり易く、気軽に実行できるロータリー財団、米山奨学への寄付の機会を作り、会員の善意をより拡げていく。

(5)今後1年のこと

ワクチン接種が始まっていますが、コロナ禍の状況はまだまだ予断を許さない状況と思われます。そのような中でも、さらに明るく楽しいロータリークラブとなるよう、皆様のご意見やご協力をいただき努力していきたいと思っております。

最後にアンケート結果によれば、多くの会員の皆様が、「当クラブを誇りに思う」と回答されており大変感銘を受けました。

以上

